

2020年度オンライン夏期海外留学

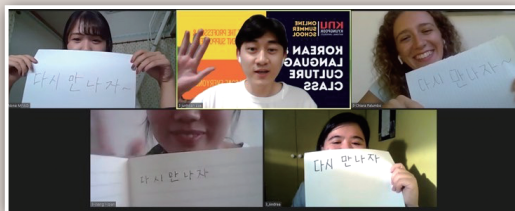
インターナショナルオフィスでは全学部の学生を対象に夏期海外語学留学のプログラムを実施していますが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全てのプログラムを中止としました。その中で、海外留学に代わるプログラムを提供できないかと考え、5月に海外の大学と交渉を始め、アメリカの南イリノイ大学、韓国の慶北大学校、台湾の淡江大学と連携をして3つのオンラインプログラムを企画しました。費用はプログラムごとに異なりますが、本学から半額程度の支援金を希望者に支給しました。ネイティブ講師から言語を学ぶだけでなく、世界中の様々なバックグラウンドの学生たちとの交流を通して、学生たちは異文化を学ぶこともできたようです。

例年夏のプログラムには授業や実験などの予定と重なり、学部によっては参加できない学生もいましたが、今年は全学部から学生が参加できました。大学の実習等で忙しい学生が参加できたり、海外渡航未経験者の学生が気軽に参加できるなど、オンラインならではのメリットもあるようです。このようなニーズに応えるためにも、今後もオンラインを活用したプログラムの継続を検討しています。実際に海外に行くことでしか得られないものもたくさんありますので、コロナ禍が収束した段階で海外派遣を再開する予定です。また、オフラインの交流とオンラインのプログラムを組み合わせることも検討しています。

韓国語・文化研修 慶北大学 (韓国)

通常の留学よりも得られるものが少ないのではないかと懸念していましたが、バーチャル旅行を企画してくれたりしてオンラインでもプログラムを楽しむことができました。授業外でも学生たちが手厚くサポートしてくれたおかげで、本当に心強く、自宅から1人で授業を受ける不安がなくなりました。

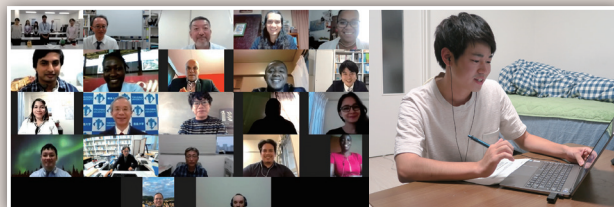
また、先生が基礎から韓国語を丁寧に教えてくれたことで、授業も楽しめました。慶北大学への長期留学への意思がより一層強くなり、仲良くなった先生や学生とも実際に会って話してみたいと思っています。 総合科学部1年 H.K.さん



英語・文化研修 南イリノイ大学 (アメリカ)

英語に苦手意識があったため、ディスカッションなどでは最初苦勞しました。しかし、徐々に英語を聞いたり話したりすることに慣れていくことができ、多くの刺激を得ただけでなく英語を学ぶことの楽しさを見出すことができました。

このオンライン研修での出会いをきっかけに海外の学生たちとSNSで繋がって異文化交流することもできました。今後も様々な世界の人々ともっとコミュニケーションをとってみたいと思い、英語学習へのモチベーションが非常に高まりました。 総合科学部4年 Y.O.さん



中国語・文化研修 淡江大学 (台湾)

ネイティブの先生から丁寧に教わったことで、中国語が上達し、学習意欲も高まりました。オンラインではあっても、様々な工夫をしてくれたおかげでとても面白く感じました。また、英語での交流も多かったため、英語についても力を入れて学習したいと思いました。

元々留学に対して不安がありましたので、オンラインで手軽に受けられるのは自分に合っていました。実際に留学できる機会があれば、先生方にお会いして感謝を述べると共に、さらなる経験を積みたいと思います。 総合科学部1年 C.Y.さん



新入留学生ガイダンス

10月13日(火)、新入留学生向けのガイダンスを行いました。今回は、新型コロナウイルス対策のため、対面とオンラインの両方でガイダンスを行いました。海外にいる新入留学生も参加し、防災や交通安全についてガイダンスを受けました。



短期海外留学プログラム

- ・ 留学計画、留学先選びに関する相談
インターナショナルオフィス 清藤教員まで
kiyofuji@tokushima-u.ac.jp
- ・ 参加手続き・海外留学奨学金申請に関する質問等
徳島大学国際課留学生支援係まで
ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

徳島大学インターナショナルオフィス

検索

インターナショナルオフィス 最近の主な活動

留学生のための就職支援セミナー

7月22日(水)、第1回留学生のための就職支援セミナー「日本の就職活動を学ぼう」を開催しました。(株)キャリアプランニング(岡山市)の講師から日本での就職活動に関する話を聞きました。

(1)日本と海外での雇用・昇進に関する違いや就職活動に関する違い、(2)日本での就職活動に関する概略的な流れ、(3)留学生が就職活動で苦労する点、(4)就職活動に関連する在留資格変更について説明を聞くことができました。特に、在留資格については、「最終的に就職先が見つからない場合には、卒業時に在留資格を特定活動に変更することで、最長12か月間の就職活動が可能になる」、「将来的に永住権の申請まで考えるのであれば、税金や健康保険料、各種公共料金の滞納はしないように」といった具体的な情報があり、参加した留学生にとって非常に参考になりました。



Online Global Lunch

2020年度前期は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで実施しました(計20回)。毎週水曜、金曜の午前11時50分から1時間ほどオンラインで集まり、日本語や英語でお互いの近況などについて話をしました。今回特徴的だったのは、多くの卒業生が参加してくれたことです。のべ108名の方が参加してくれました。徳島大学で日本語を勉強した留学生や、サマースクールに参加した留学生、それに本校を卒業した日本人学生や留学生が数多く参加しました。国際交流に関心がある方は、是非、Global Lunchに参加してください。

総合日本語開講

週1回または2回の総合日本語は、前期2つのキャンパスの学生を対象に6レベル8クラスを開講し、合計57人の学生が参加しました。すべてのクラスがオンラインで行われ、学生は自宅や研究室から学習しました。語彙動画などを予習で視聴してもらい、クラスでは発音や会話の練習が多くできるように工夫しました。

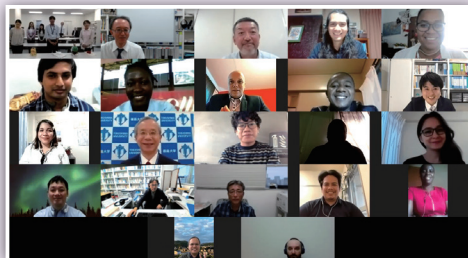
後期は総合日本語に新しく漢字のクラスを加え、対面・オンラインで授業を行っています。



日本語研修コース

2020年10月8日(木)、オンラインで2020年度後期の日本語研修コース開講式を行いました。開講式には、本コースで日本語を学ぶ留学生(合計10名)をはじめ、河村高等教育研究センター長、小林鳴門教育大学副学長、インターナショナル・オフィスの教職員、昨年度の研修コースに参加した留学生らも式に参加しました。今回は、シリア(1名)、フィリピン(2名)、マラウイ(1名)、ジンバブエ(1名)、コロンビア(1名)、ケニア(1名)、セーシェル(1名)、ラトビア(1名)、バングラデシュ(1名)の9カ国からの留学生が本研修コースで日本語・日本文化を学びます。

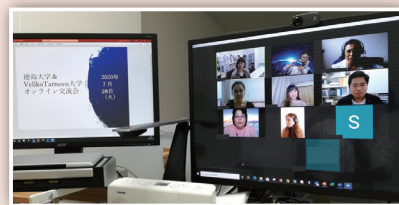
新型コロナウイルスの影響もありオンラインで授業を開始していますが、状況に応じて対面での授業も行いう予定です。



ヴェリコ・タルノヴォ大学(ブルガリア)とのオンライン交流会

7月28日(火)、ブルガリアのヴェリコ・タルノヴォ大学とZoomを使って遠隔での交流を行いました。初回である今回は、本学学生3人と本学教員、ヴェリコ・タルノヴォ大学学生2人及び同学日本語日本文化センター教員2人が参加し、1時間ほど交流を行いました。

本学の学生からは徳島と徳島大学の紹介、日本の文化紹介の一つとして自身が参加した成人式の説明を行いました。ヴェリコ・タルノヴォ大学側からは、大学紹介に加えてブルガリアの料理や美しい世界遺産に関する説明がありました。時差6時間のブルガリアの学生・教職員との対面に近い有意義な交流ができました。



ベトナム語・ベトナム文化講座開催

2020年6月～9月、ベトナム語・ベトナム文化理解オンライン講座を実施しました。同講座は2部構成で、最初の6月～7月には「ベトナム語初級・ベトナム文化理解講座」を計8回実施しました。本学学部生4名が参加し、ベトナムに関する基本知識(歴史・文化・国民性等)・初心者向けベトナム語を学びました。今後のベトナム短期留学やインターンシップに参加の動機付けを高めることができました。

8月～9月には、「Step up第2回ベトナム語・文化講座」計11回の連続コースを開講しました。前講座から継続した3人の本学学部生に加え、社会人5人が参加し、ベトナム語を日常生活・歴史・文化・社会・ビジネス・医療等のテーマ別に学びました。

